

あいち農産物生産流通レポート

平成21年1月号

情報サロン		
・大田市場内で果樹の新品種紹介イベント開催される	-----	1
	(東京事務所)	
地域トピックス		
・二つの市場が新築移転し、新たに門出しました	-----	2
	(西三河農林水産事務所)	
東日本情報		
・各県の農産物輸出への取り組み	-----	3
	(東京事務所)	
西日本情報		
・みんなの夢がかなうよう いちご”ゆめのかNOW会議”	-----	5
を開催しました	(園芸農産課)	
・あいち中小企業応援ファンド助成事業について	-----	7
	(食育推進課)	
フラワーページ		
・花き総合認証制度と今後の販売	-----	9
	((株)フラワーオークションジャパン 上西博之)	
青 果		
・愛知産青果物の動向(名古屋・東京市場)	-----	10
・名古屋・東京市場における青果物の1月の見通し	-----	11
花 き		
・切花・鉢花の1月の見通し(県内市場)	-----	17
輸出入		
・主要農産物の輸出入実績(2008年10月)	-----	21
関連指数	-----	22

内容についての問い合わせ先

愛知県東京事務所行政課農産物流通対策グループ

(03)-5492-5400

愛知県農林水産部食育推進課

(052)-954-6417

大田市場内で果樹の新品種紹介イベント開催される

有望な果樹の新品種を集めた「くだもの新品種プラットホーム」（主催：（財）中央果実生産出荷安定基金協会）が市場関係者、果樹苗木商、流通関係者などの出席のもと、大田市場内のホテルコムズで開催されました。内容は育成機関の関係者からその品種の特性や品質について紹介し、実際に果樹の新品種を味わってもらう形式で行われました。

第1回（9月5日開催）は「初秋を彩るくだもの新品種」と題して、全国の産地から注目されている（独）農研機構の育成したシャインマスカットを始め、ぶどう4品種、なし3品種が出品されました。また、第2回（10月15日開催）は「秋を味わうくだもの新品種」と題して開催され、愛知県のなしの新品種「陽水」を始め、りんご10品種、みかん1品種が出品されました。これまでは、育成者個々に新品種を紹介する機会がほとんどでしたが、今回このような新品種が一堂に紹介されるイベントは、画期的なものであり、参加者からは次のような意見がありました。

- ・ 消費者へ勧めるのは我々果専門店であり、我々の意見も取り入れて新品種を育成して欲しい。また、良い品種が育成されたなら、是非、産地で売り上げの一部を集め、宣伝費として使って欲しい（果実専門店）。
- ・ 消費者へ皮ごと食べられるぶどう等消費者へアピールできる特徴を持った品種をもっと育成して欲しい（市場関係者）。
- ・ これまでの品種改良は、栽培しやすいなど、生産者や卸売業者本位のものが多かったと思う。しかし、これからは消費者目線での品種改良を行って欲しい（果実専門店）。



愛知県育成品種「陽水」の試食風景

<参考>

次回は、平成21年2月中下旬、ホテルコムズにおいて、「冬のくだもの 晩生カンキツ新品種」と題して開催予定。

二つの市場が新築移転し、新たに門出しました

刈谷青果地方卸売市場と愛中西尾地方卸売市場が新築移転しました。刈谷青果地方卸売市場は第8次愛知県卸売市場整備計画の中で、地区市場として位置付けられていますが、刈谷駅南地区市街地再開発事業により、用地が収用の対象となったため、刈谷駅前の市街地から国道419号線に近い郊外の刈谷市小垣江町柿ノ湫56番地1に移転しました。9月21日(日)に新社屋が竣工、開業は平成20年9月29日(月)から始まりました。

新しい市場は、旧市場の2.5倍(13,470㎡)の用地に、卸売場1,284㎡(内低温売場238㎡)、大型冷蔵庫(総面積429㎡)などの充実した機能を備えた近代的な施設であり、生産農家と密接に結びつきながら、立地的にも恵まれた交通アクセスを活かした地域の生鮮食料品等の安全・安心で安定的かつ円滑な流通の確保を担うことが期待されています。

愛中西尾地方卸売市場は、卸売市場を取り巻く環境が近年厳しさを増している中、集荷・販売力を強化し、経営の効率化を図るため、愛中一色地方卸売



刈谷青果地方卸売市場

市場を廃止(平成20年12月21日)し、西尾地方卸売市場に統合し移転したもので、西尾市役所に近い市街地(西尾市寄住町)から、郊外の西尾市細池町神明90番地に移転しました。竣工は12月10日で、開業は平成20年12月22日です。

この市場の整備については、第8次愛知県卸売市場整備計画に沿って愛中一色地方卸売市場と統合して整備されたものであり、消費者の安全性と品質に対する意識の高まりに対応するため、新たに低温売場の設置や多様な流通形態に対応するために加工場を建設するなど、青果物の流通拠点として安全・安心な青果物の安定的な供給に取り組み、地元生産者との連携のもと、地域農業の振興の一助となることが期待されています。

市場の規模は、用地13,759㎡、卸売場1,470㎡(内低温売場330㎡)、加工場185㎡等です。



愛中西尾地方卸売市場

各県の農産物輸出への取り組み

平成17年に小泉首相（当時）が「日本には品質の高い農産物が沢山ある、海外の金持ちを相手に輸出を考えたらどうだ」という国会での発言以来、国は5年間で農産物の輸出を倍増する方針をたて、各県が輸出に取り組むようになりました。

こうした状況の中、大田市場内に駐在員を置く、茨城県、千葉県、群馬県、栃木県、山梨県でも輸出に関する調査やテスト輸出が行われています。今回、輸出を担当する駐在員に聞き取り、本県で参考になりそうな情報を香港への農産物輸出を中心に取りまとめてみました。

農産物の輸出には、植物検疫、通関・税関にかかわる業務、輸送中の事故に対する保険、代金決済など多くの人手と手数料を必要とし、かつ大きなリスクを伴います。

農産物輸出は生産者へ現実を理解してもらい、1、2年の話ではなく長い目で進めていかなければ、次のステップへ進めません。そもそも輸出の目的は、生産者に利益をもたらすことが第一であり、リスクを背負わせることではありません。



香港で開かれた商談会への出店（千葉県）

また、輸出と言っても、生産者 共選場（JA） 市場 仲卸までのルートは同じで、国内販売と輸出を分けて考えることはできません。

香港にターゲットに絞った場合、日本フェアへの参加や、現地（仕入担当者）バイヤーとの交流などを通じて積極的に売り込みをかける必要があります。こうした活動の中で、輸出を成功させるポイントを整理してみました。

県や県連・全農県本部のトップレベルが現地へ行っても商談は成立しない。輸出サポーター（輸出に関わる仲卸業者、現地の商社）を見つけることが先決である。県で出来ることは、せいぜいテスト輸出までである。

「海外輸出を成功させるためには、輸出サポーターを指定し、そこをパートナーとして支援していくこと」と言われていますが、外国で信頼できる現地のパートナーを見つけることは難しいことです。最低2週間、契約通りの品質、数量を継続して出荷できる体力が

あれば、商談は可能と思われませんが、現状では、長期の輸出は一産地では難しく、産地間リレーが必要です。また、必要とあらば県の枠を越えたりレーも考えられます。

輸出に必要な要素は次の3つの条件が考えられます。輸出は、国内販売と同様に、安定した値段や品質は絶対条件であること、商談は即決できるポジションの人物が行うこと、契約は遅くとも3か月前に行うことです。

デパートなどの販売店では、ほとんどの場合、販売企画は販売店の仕入担当ではなく現地商社（パートナー）が仕切ります。こうした交渉事はこの商社（パートナー）を通じて行う方が話がスムーズに運びます。

山梨県のももは、「山梨産」として味が良いことで台湾では知れ渡っていますが、香港では「日本産」として評価されています。従って、知名度の低い「愛知県産」で販売するより「日本産」として販売した方が受け入れやすいようです。ただ、長野県だけは冬季オリンピックが開催されたこともあり、別格として取り扱われる傾向にあります。

最近の円高の進行により、農産物を扱う商社の収益率が8%から5%以下へと低下しています。現地の日本産農産物を扱う商社は、淘汰の段階となっています。今後、輸出を始めようとする場合、経営面を踏まえ信頼できるパートナーの選択が重要です。

野菜については、90%が中国からきています。香港人は毒ミルク事件など一連の不祥事から中国本土産に不安を感じているので、日本産＝安全の認識を強くもっています。



活気ある香港の果実専門店

また、日本食がブームとなっています。中でも刺身は人気が高く、大葉などつまものが求められています。日本人が経営する日本食レストランだけでなく現地人が経営する店もあり、そういう店舗に納めるバイヤーからは日本産農産物入手ルートの開拓が求められています。

香港人は外食が多いことから、こうしたバイヤーへのPRは日本産農産物の需要拡大に有効な手段であると考えられます。

<まとめ>

国内だけでなく香港でも福岡県の「あまおう」はいちごの人気ブランドです。10個入りのものが1,800円もするのに飛ぶように売られています。香港ではいちご＝「あまおう」とまでと言われるようになってきました。これは品質の良いものを厳選して輸出した結果、海外でのブランド化に成功した事例です。海外でも国内と同様にしっかりした販売戦略を持って輸出に取り組まなければならないと痛切に感じました。

みんなの夢がかなうよう いちご”ゆめのかNOW会議”を開催しました

いちご「ゆめのか」は、愛知県農業総合試験場で育成され、平成19年3月22日に品種登録されました。県内では約20ha栽培され、県外でも6県で10の生産者等が許諾契約を結び（平成20年9月30日現在）栽培されています。

「ゆめのか」については、いちご「ゆめのか」普及促進会議（構成団体：愛知県、愛知県経済農業協同組合連合会、財団法人愛知県農業振興基金、社団法人愛知県園芸振興基金協会）を設立し、構成団体が一体となって活動してきました。

いちご「ゆめのか」普及促進会議では、生産拡大のため、生産技術の向上と情報交換の機会とすることを目的として、「ゆめのかNOW会議」を開催しました。

- 1 日時 平成20年11月12日（水）
- 2 会場 愛知県農業総合試験場
- 3 主催 いちご「ゆめのか」普及促進会議
- 4 共催 愛知県いちご生産組合連合会
- 5 参加者 約120名（うち県外参加者11名）

6 内容

- (1) 県内外のゆめのか栽培状況等について
農業総合試験場企画普及部堀田主任専門員から、「ゆめのか」育成に育種サポーター制度を活用したこと、普及促進のために、いちご「ゆめのか」普及促進会議を設立したこと、「ゆめのか」の状況などが説明されました。

また、県外参加者の一部から、各産地の状況報告がありました。

- (2) 現地における栽培事例
東三河農林水産事務所農業改良普及課齋藤専門員から、現地の状況と早出し栽培試験の結果について説明されました。

- (3) ゆめのか栽培マニュアル改訂版について
農業総合試験場園芸研究部樋江井主任研究員から、早出し栽培では初期に遮光すること、育苗時の施肥法、収穫適期などの新しい知見を加えた改訂版が説明されました。



「県内外のゆめのか栽培状況等について」

堀田主任専門員



「現地における栽培事例」

齋藤専門員

(4) ゆめのかに期待すること

名果株式会社山田考査役から、生産者は「ゆめのか」に惚れ込んで生産、出荷してほしいこと、特性を活かした地域ブランドとして販売することが「ゆめのか」にとって有利になるであろうことなどが説明されました。

(5) ゆめのかNOW宣言

愛知県いちご生産組合連合会安田副会長が、安全・安心で高品質な「ゆめのか」を出荷すること、PRしみんなの夢をかなえるイチゴに育てることを内容とする、ゆめのかNOW宣言(案)を提案し、出席者の賛同を得ました。

(6) ゆめのかで儲けるために

愛知県経済農業協同組合連合会鈴木課長から、時期別の適期収穫を厳守することが強調されました。

全体を通じて、出席者は高品質な「ゆめのか」の生産、出荷に取り組まなければならないことが再確認できた様子でした。



「ゆめのか栽培マニュアル改訂版について」

樋江井主任研究員



「ゆめのかに期待すること」

山田考査役



「ゆめのかNOW宣言」の提案
安田副会長



「ゆめのかで儲けるために」
鈴木課長

なお、ゆめのかNOW会議に先立ち、希望者38名を2班に分け、愛知県農業総合試験場園芸研究部野菜グループの研究ほ場で、「ゆめのか」導入についての課題である早出し栽培への対応試験や育種試験を視察しました。

また、ゆめのかNOW会議の終了後、希望者は、県内の「ゆめのか」生産者に供給される種苗の原々種を生産している社団法人愛知県園芸振興基金協会施設の視察を行いました。



試験ほ場視察

あいち中小企業応援ファンド助成事業について

この事業は、地域の活性化、産業の一層の活性化を目的として、県内の地域資源を活用した中小企業（農業協同組合、漁業協同組合、森林組合等も含まれる）の新事業展開に対して助成するものです。

農林水産分野においても地域の農林水産物を活かした新製品・新商品（食品加工品）の開発やその商品の販路を開拓する事業展開等に活用できます。

事業のもととなるファンド（基金）は、国・県からの貸付金と地域金融機関からの貸付金を合わせ、総額 100 億円を積み、「あいち中小企業応援ファンドの概要」にあるスキームで財団法人あいち産業振興機構が運営を行っています。

（地域資源について）

この事業における地域資源とは、地域経済に密接な県内の鉱工業品及びその生産に係る技術、農林水産物、観光資源で、概ね次のものです。

- ・ 地域の特産物として認識されている農林水産物又は鉱工業品
- ・ 当該鉱工業品の生産に係る技術
- ・ 文化財、自然の風景地、温泉その他の地域の観光資源として認識されているもの

1 助成対象者

中小企業者枠

愛知県内に本社又は主たる事務所を有する中小企業者（個人、会社及び団体）又はその中小企業者が複数で構成するグループ（以下「中小企業者」といいます。）」

団体の中には、農業協同組合、漁業協同組合、森林組合等も含まれます。

支援機関枠

愛知県内に主たる事務所を有する商工会議所、商工会、商工会連合会、中小企業団体中央会、観光協会（法人格を有するものに限る）、農業協同組合、漁業協同組合、森林組合、民法第 3 4 条に規定する公益法人、特定非営利活動法人、その他営利を目的としない法人等（以下「支援機関」といいます。）」

2 助成対象事業の内容及び助成額等

中小企業者枠

中小企業者等が実施する県内の地域資源を活用した新事業展開のために行う事業で、新製品（商品）開発、販路拡大、人材育成（新製品開発、販路拡大につながるもの）など

- ・ 個別の中小企業者：（50 万円以上）300 万円以内・ 2 分の 1 以内
- ・ 団体及び、中小企業者が複数で構成するグループ：（50 万円以上）500 万円以内・ 2 分の 1 以内

支援機関枠

中小企業者等が実施する県内の地域資源を活用した新事業展開を支援するために、支援機関が実施する事業で、新製品（商品）開発、販路拡大、人材育成（新製品開発、販路拡大につながるもの）や地域資源活用による新事業展開の機運を醸成するため、県内各地域で実施する普及・啓発の取組

・（100万円以上）1,000万円以内・3分の2以内

地域資源活用による新事業展開の機運を醸成するため、県内各地域で実施する普及・啓発の取組については（100万円以上）500万円以内・10分の10以内。

3 採択方法

外部有識者などで構成する審査委員会で審査し、評価基準の充足性の高いものから予算の範囲内で決定します。

（評価基準項目）地域資源の活用の度合、計画の妥当性、地域産業活性化への効果、新規性、事業化の実現性

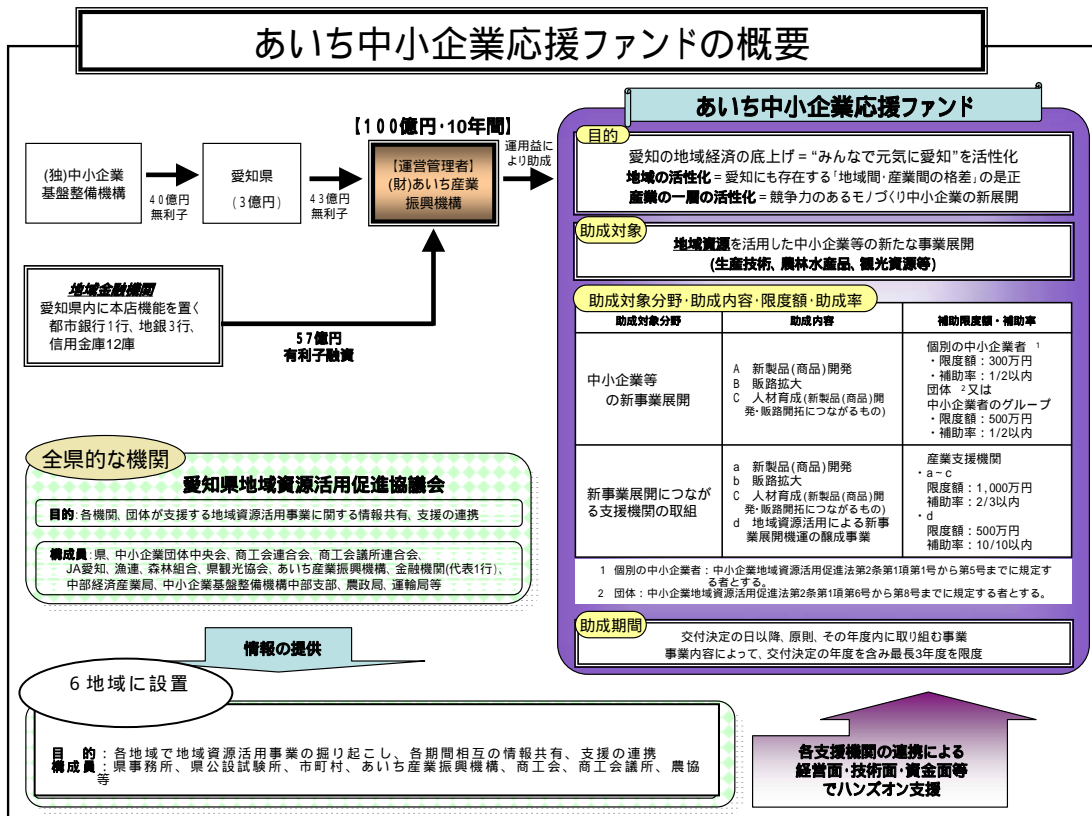
4 公募期間

平成21年1月26日（月）から2月17日（火）（原則年1回）

〔説明会〕 1/8(木)午前10時30分～県知多総合庁舎(3階大会議室)、1/13(火)午後1時～名鉄ニューグランドホテル(7階橋の間)、1/19(月)午後1時～ホテルアソシア豊橋(5階ザボールルーム)、1/20(火)午後3時～県海部総合庁舎(401会議室)、1/22(木)午後2時～県西三河総合庁舎(704会議室)、1/23(金)午後2時～県新城設楽総合庁舎(2階第1会議室)（1/13,19は地域資源活用、農商工連携の制度も説明します。）

詳しい事業内容等については「財団法人あいち産業振興機構」新事業支援部人材・地域資源活用グループへお問い合わせください。

電話052-231-6166 FAX052-222-0419



花き総合認証制度と今後の販売

花き産業総合認証(以下 MPS)は、花き生産先進国で始まった総合認証システムです。世界30カ国、4,500団体あまりが認証を取得しています。MPS 認証は、生産だけでなく、流通も含めた花き産業全体に及ぶものです。花き生産者向けには、環境(ABC)、品質(Q)、雇用・社会的責任(SQ)、生産工程管理(GAP)の4部門があり、肥料・農薬など環境に対する負荷を削減努力を認証するだけでなく、鮮度・品質などの品質保持に責任や従業員の雇用、安全など社会的責任を果たすための認証も含まれます(詳しくは下記ホームページを参照してください)。

日本では、おおよそ150名くらいがすでに認証を受けています。現在のところ個選農家为中心で、共選産地では和歌山県の1事例しかありませんが、今後静岡などの生産部会(組合)が準備している状態で、今後、何十名といった単位で増加していくものと考えています。卸売業界でも新たに取引組む会社が増えており、今後もこれに追随する動きとなると思われます。

花き業界ではこれまで、花の美しさや日持ちなどが評価基準でありましたが、今後、青果物と同様に「環境に配慮した生産」が基準の1つとなっていくものと思われます。

オランダなどのMPS 先発国では、大きな地位を獲得しており、全取引量の8割を占めるまでになっています。また、生産と消費が互いに密着していることやアフリカや南米から安価なものに対抗する必要性からも、日本より取り入れやすい素養があったとも考えられます。

MPS には、産地 卸売市場 販売店までの各流通段階のトレーサビリティも同時に求められています。製品に何か問題があった場合、責任の所在が明らかになるなど流通の透明性が高まるなどの利点もあり、生産者と消費者双方にメリットがあるものと思われます。生産者や産地に対しては、今は不況の影響から経営的に厳しい状態が続いており、25万円の認証料や生産データを取るなど生産者への負担は大きいと思います。しかし、販売単価の向上などには直接結びつかないが、JAS マークと同じようになくてもならない認証となっていくと思われます。

また、年々増加している発展途上国からの労働搾取による安価な輸入品の排除や輸出に有利などのメリットも考えられます。国内の花き産業発展のために、業界が一緒になって進めていく良い機会であり、生産サイドの協力のもと同制度を推し進めていきたいと考えています。

MPS フローラルリンク(株) <http://www.mps-jfma.net/index.html>

愛知産青果物の動向

青果物の見通し」及び「花きの見通し」ページにおいて使用する『変動の幅を表す用語』につきましては、下記の基準で記載しております。

わずか : ± 2 % 台以内
 や や : ± 3 ~ 5 % 台
 かなり : ± 6 ~ 15 % 台
 大 幅 : ± 1 6 % 以上

名古屋市中央卸売市場(品目:小松菜)

	入 荷 量 (t)	卸 売 価 格 (円/kg)		前年の主な他産地 (上位3産地)
		うち愛知産	うち愛知産	
20年実績	240	186 (78%)	199	岐阜 (19%) 静岡 (2%)
21年見通し	220	-	250	-
入荷量及び卸売価格の概要と見通し		卸売市場から産地への要望・提言等		
<p>定植後の少雨の影響で生育が遅れ気味であったが、12月以降回復し、年始の「正月菜」需要には間に合う見込み。周年入荷される品目ではあるが、旬の時期を迎え、高品質なものが揃うであろう。 1月の入荷量は前年をかなり下回り、価格は安かった前年を大幅に下回る見込み。</p>		<p>正月商品としての出番や、定番の汁もの、おひたしとしての需要は減ってきているが、和えものや炒めものなどに用途が広がり、夏秋ものの割合が増加している。食べ方のバリエーションを紹介するなどして、さらなるPRをしてほしい。</p>		

東京都中央卸売市場(品目:セルリー)

	入 荷 量 (t)	卸 売 価 格 (円/kg)		前年の主な他産地 (上位3産地)
		うち愛知産	うち愛知産	
20年実績	793	142 (18%)	193	静岡 (59%) 福岡 (13%) 茨城 (5%)
21年見通し	790	-	190	-
入荷量及び卸売価格の概要と見通し		卸売市場から産地への要望・提言等		
<p>静岡が入荷の約6割を占め、愛知、福岡がそれに続く。各産地とも生育は良好で、順調な入荷が見込まれている。露地からハウスへ切り替わる時期で品質についても良好となる見込み。 入荷量は前年並で、価格も前年並となる見込み。</p>		<p>セルリーは小売では一本売りが定着しているが、販促時にはMやSサイズの半株にする引き合いが強い。積極的な提案が望まれる。 愛知産の形状や品質に問題はないが、生産者によりバラツキがある。 適期収穫や温度管理による品質保持はもちろん、個人差をなくすよう努めて欲しい。</p>		

名古屋・東京市場における青果物の1月の見通し

名古屋中央卸売市場

12月16日現在

単位：入荷量 = トン、卸売価格 = 円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
野菜	16年	32,651	212	233	198	210	愛知 31%
	17年	32,081	204	226	200	198	北海道 20%
	18年	31,194	229	276	218	212	静岡 6%
	19年	33,666	191	233	180	179	鹿児島 5%
	20年	32,356	186	218	172	181	
	5ヵ年平均	32,390	204	-	-	-	
計	21年見通し	31,500	210	-	-	-	前年及び本年の入荷量・価格の動き
産地状況と入荷量および卸売価格の概況見通し							
12月の天候不順により、生育が遅れた影響で、1月に入荷がずれこむ品目もあるが、全体的には安定した入荷となる見込み。入荷が少ない品目などもあり価格は堅調に推移するであろう。入荷量は前年をわずかに下回り、価格は安かった前年をかなり上回る見込み。							
だいこん	16年	2,291	85	86	76	91	静岡 53%
	17年	2,118	72	72	70	74	徳島 29%
	18年	1,917	98	104	96	96	千葉 8%
	19年	2,066	45	68	36	40	愛知 5%
	20年	2,032	47	58	41	46	
	5ヵ年平均	2,085	69	78	64	69	
計	21年見通し	2,000	70	80	70	60	前年及び本年の入荷量・価格の動き
産地状況と入荷量および卸売価格の概況見通し							
静岡、徳島を中心に、千葉、愛知から入荷する。各産地とも生育は順調。消費者の嗜好変化もあり、3L以上の大きなものは少なくなってきている。入荷量は前年並みで、価格は安かった前年を大幅に上回る見込み。							
にんじん	16年	2,321	67	74	55	72	愛知 67%
	17年	2,205	136	132	133	141	鹿児島 17%
	18年	2,422	114	134	113	106	千葉 13%
	19年	2,887	59	72	64	49	熊本 2%
	20年	2,538	82	101	87	72	
	5ヵ年平均	2,475	90	103	90	88	
計	21年見通し	2,400	90	100	90	80	前年及び本年の入荷量・価格の動き
産地状況と入荷量および卸売価格の概況見通し							
愛知を中心に千葉、鹿児島から入荷する。愛知は、12月に遅れた分が1月に集中する可能性もあるが、概ね順調。鹿児島も安定した入荷の見込み。入荷量は前年をやや下回り、価格は前年をかなり上回る見込み。							

東京都中央卸売市場

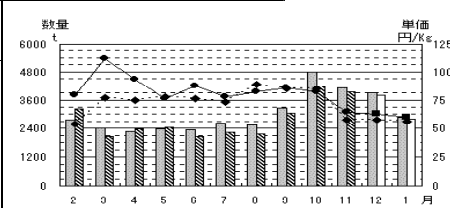
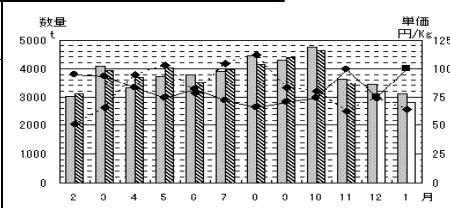
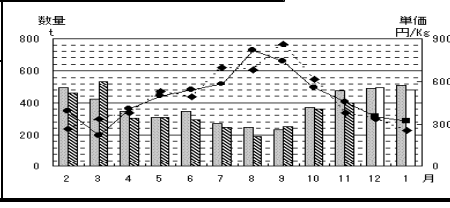
12月19日現在

単位：入荷量 = トン、卸売価格 = 円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
野菜	16年	119,764	227	236	218	229	千葉 20%
	17年	115,173	227	241	224	222	茨城 13%
	18年	112,818	258	310	242	240	北海道 12%
	19年	121,416	209	244	197	198	愛知 8%
	20年	123,082	203	225	187	203	(愛知産比率 8%)
	5ヵ年平均	118,451	224	251	214	218	
計	21年見通し	118,000	210	200	210	220	前年及び本年の入荷量・価格の動き
産地状況と入荷量及び卸売価格の概況見通し							
前月に続き関東産地からの入荷が中心で、土物類は北海道からの入荷となる。西南暖地は9月下旬からの天候不順や、11月下旬の冷え込みにより生育に影響が見られる。入荷量は多かった前年をやや下回り、価格は前年をやや上回る見込み。							
だいこん	16年	11,874	91	88	90	95	神奈川 54%
	17年	11,847	71	64	73	73	千葉 33%
	18年	11,521	107	111	105	106	徳島 7%
	19年	12,150	53	71	46	48	静岡 4%
	20年	12,958	53	59	50	51	(愛知産比率 0%)
	5ヵ年平均	12,070	74	79	73	75	
計	21年見通し	12,000	70	65	70	70	前年及び本年の入荷量・価格の動き
産地状況と入荷量及び卸売価格の概況見通し							
関東産地からの入荷が中心となる。神奈川の生育は低温による遅れも回復し順調、Lサイズが中心。千葉の生育も順調で、品質も良好だが、入荷は多かった前年をかなり下回り平年並みの見込み。入荷量は前年をかなり下回り、価格は安かった前年を大幅に上回る見込み。							
にんじん	16年	7,717	59	68	53	58	千葉 82%
	17年	6,700	141	142	145	137	埼玉 8%
	18年	6,301	130	148	129	123	茨城 7%
	19年	7,714	64	73	66	58	北海道 1%
	20年	7,332	96	100	95	95	(愛知産比率 0%)
	5ヵ年平均	7,153	96	106	98	94	
計	21年見通し	7,000	100	100	100	100	前年及び本年の入荷量・価格の動き
産地状況と入荷量及び卸売価格の概況見通し							
千葉を中心に関東産地からの入荷となる。千葉の生育は天候に恵まれ順調だが、入荷は多かった前年をかなり下回り平年並みの見込み。埼玉の生育も概ね順調である。入荷量は前年をやや下回り、価格は前年をやや上回る見込み。							

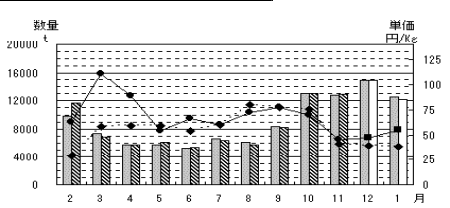
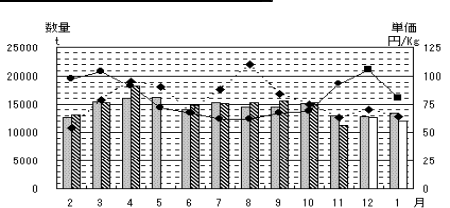
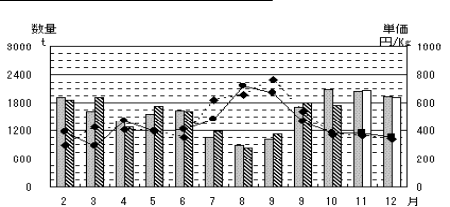
名古屋中央卸売市場

単位：入荷量 = トン、卸売価格 = 円 / kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
はくさい	16年	3,032	79	74	78	83	愛知 54%
	17年	2,684	77	91	70	75	兵庫 21%
	18年	2,846	71	77	66	71	長野 9%
	19年	2,938	52	67	46	47	宮崎 7%
	20年	2,867	56	63	48	60	
	5ヵ年平均	2,873	67	74	62	67	
	21年見通し	2,800	60	60	60	60	前年及び本年の入荷量・価格の動き
産地状況と入荷量および卸売価格の概況見通し		<p>愛知を中心に兵庫、宮崎、長野などから入荷する。愛知は、作付面積が若干減少しているが、入荷に大きな影響はなく安定して推移するであろう。入荷量は前年をわずかに下回り、価格は安かった前年をかなり上回る見込み。</p>					
キャベツ	16年	2,781	78	64	89	78	愛知 97%
	17年	2,546	126	115	123	135	茨城 1%
	18年	2,595	142	183	137	127	兵庫 1%
	19年	3,142	45	50	44	44	鹿児島 1%
	20年	3,100	64	72	55	66	
	5ヵ年平均	2,833	88	97	90	90	
	21年見通し	2,800	100	100	100	100	前年及び本年の入荷量・価格の動き
産地状況と入荷量および卸売価格の概況見通し		<p>愛知を主体に一部茨城、鹿児島などから入荷する。12月は少なめで推移したが、1月は安定した入荷の見込み。過去2年と比べ、量が少ないので価格は堅調であろう。入荷量は前年をかなり下回り、価格は安かった前年を大幅に上回る見込み。</p>					
ほうれんそう	16年	439	517	464	554	537	愛知 90%
	17年	492	403	369	393	426	徳島 5%
	18年	458	491	692	468	426	福岡 2%
	19年	432	378	431	363	366	
	20年	506	257	233	208	324	
	5ヵ年平均	465	405	438	397	416	
	21年見通し	480	320	350	300	300	前年及び本年の入荷量・価格の動き
産地状況と入荷量および卸売価格の概況見通し		<p>愛知を主体に一部福岡、徳島などから入荷する。12月に生育が遅れた分、1月の入荷が多めとなるであろう。入荷量は前年をやや下回り、価格は安かった前年を大幅に上回る見込み。</p>					

東京都中央卸売市場

単位：入荷量 = トン、卸売価格 = 円 / kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
はくさい	16年	12,819	50	43	54	52	茨城 79%
	17年	12,402	57	64	57	52	群馬 12%
	18年	13,343	60	62	59	58	兵庫 6%
	19年	12,674	27	37	25	23	埼玉 2%
	20年	12,535	38	40	34	39	(愛知産比率 1%)
	5ヵ年平均	12,755	47	49	46	45	
	21年見通し	12,200	55	55	55	50	前年及び本年の入荷量・価格の動き
産地状況と入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>前月に続き茨城からの入荷が中心で、群馬からの入荷も増えてくる。茨城の生育は順調だが若干小玉傾向。群馬の生育も良好で順調な入荷が見込まれる。全体の入荷量は前年をわずかに下回り、価格は安かった前年を大幅に上回る見込み。</p>					
キャベツ	16年	12,774	85	69	100	83	愛知 54%
	17年	10,822	130	106	133	141	千葉 29%
	18年	11,823	142	180	137	124	神奈川 12%
	19年	13,086	52	51	52	52	北海道 2%
	20年	13,372	64	66	58	68	(愛知産比率 54%)
	5ヵ年平均	12,375	92	94	96	94	
	21年見通し	12,000	80	90	80	70	前年及び本年の入荷量・価格の動き
産地状況と入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>愛知と千葉、神奈川からの入荷が中心となる。愛知の生育は11月の冷え込みにより小玉傾向。千葉の生育は良好で、順調な入荷が見込まれる。神奈川の生育も概ね順調だが小玉傾向。入荷量は前年をかなり下回り、価格は安かった前年を大幅に上回る見込み。</p>					
ほうれんそう	16年	1,882	542	493	537	589	埼玉 26%
	17年	1,675	474	576	482	425	千葉 22%
	18年	1,764	553	743	528	437	群馬 22%
	19年	1,979	384	428	395	347	茨城 20%
	20年	1,932	338	383	292	352	(愛知産比率 0%)
	5ヵ年平均	1,846	451	525	447	430	
	21年見通し	1,900	350	350	350	350	前年及び本年の入荷量・価格の動き
産地状況と入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>関東産地からの入荷でほぼ全量が占められる。埼玉の生育は概ね順調。千葉の生育も概ね順調だが、入荷は多かった前年をかなり下回り平年並みの見込み。群馬の生育はやや前進化傾向である。全体の入荷量は前年並で、価格は前年をやや上回る見込み。</p>					

名古屋市中央卸売市場

「ねぎ」の数値には「こねぎ」を含む。

単位：入荷量 = トン、卸売価格 = 円 / kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
ねぎ	16年	1,065	314	353	268	323	愛知 27%
	17年	1,014	291	353	266	283	静岡 20%
	18年	996	347	442	308	318	群馬 11%
	19年	1,033	277	368	271	236	大分 8%
	20年	1,037	337	426	300	322	
	5ヵ年平均	1,029	313	388	283	296	
	21年見通し	1,050	300	300	300		前年及び本年の入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量および卸売価格の概況見通し							
愛知を中心に、静岡、群馬、大分などから入荷する。愛知は長ねぎで、その他の産地は白ねぎ。生育は順調で、太めである。量も潤沢な見込み。入荷量は前年並みで、価格は高かった前年をかなり下回る見込み。							
レタ	16年	1,472	265	269	253	272	兵庫 51%
	17年	1,523	202	217	196	199	愛知 16%
	18年	1,283	339	453	317	297	静岡 13%
	19年	1,733	218	231	207	219	熊本 10%
	20年	1,782	157	158	143	170	
	5ヵ年平均	1,558	230	266	223	231	
	21年見通し	1,600	230	250	230	200	前年及び本年の入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量および卸売価格の概況見通し							
兵庫を中心に、愛知、静岡、熊本などから入荷する。12月までは玉つきが良くないものはあったが、1月以降はトンネル栽培中心で、順調な生育となるであろう。入荷量は前年をかなり下回り、価格は安かった前年を大幅に上回る見込み。							
きゅう	16年	1,598	283	207	272	378	愛知 47%
	17年	1,485	300	267	281	348	宮崎 22%
	18年	1,210	443	348	414	579	高知 17%
	19年	1,318	453	477	440	443	鹿児島 14%
	20年	1,245	452	393	392	575	
	5ヵ年平均	1,371	378	338	360	465	
	21年見通し	1,300	450	350	450	550	前年及び本年の入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量および卸売価格の概況見通し							
愛知を中心に、宮崎、鹿児島、高知から入荷する。重油高の影響で九州産地の入荷が少なめで、かつ不安定となるであろう。1月下旬から節分に向けて需要が増えることを期待したい。入荷量は前年をやや上回り、価格は前年同様に平年を大幅に上回る見込み。							

東京都中央卸売市場

単位：入荷量 = トン、卸売価格 = 円 / kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
ねぎ	16年	5,300	212	243	198	203	千葉 37%
	17年	5,122	242	324	244	198	埼玉 29%
	18年	4,642	275	358	252	244	茨城 10%
	19年	5,498	176	253	157	149	群馬 8%
	20年	5,367	229	275	210	218	(愛知産比率 0%)
	5ヵ年平均	5,186	225	291	212	202	
	21年見通し	5,600	180	180	180		前年及び本年の入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
千葉を始めとする関東産地からの入荷が中心となる。千葉の生育は天候に恵まれ概ね順調。埼玉は8月下旬の大雨の影響から回復し概ね順調。茨城、群馬の生育も順調である。入荷量は前年をやや上回り、価格は前年を大幅に下回る見込み。							
レタ	16年	7,591	270	298	311	256	静岡 37%
	17年	7,163	209	228	206	202	香川 18%
	18年	6,218	360	513	328	285	兵庫 11%
	19年	7,866	210	223	200	207	熊本 8%
	20年	8,475	147	153	130	158	(愛知産比率 3%)
	5ヵ年平均	7,463	233	283	235	222	
	21年見通し	8,000	230	230	230		前年及び本年の入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
前月に続き静岡、香川からの入荷が中心となる。静岡の生育は概ね順調。香川の生育は9月中旬から10月上旬の定植期の降雨の影響から量的に少ない見込み。兵庫の生育は順調である。入荷量は前年をやや下回り、価格は安かった前年を大幅に上回る見込み。							
きゅう	16年	5,481	303	223	400	379	宮崎 32%
	17年	5,197	315	257	308	370	千葉 23%
	18年	4,616	485	378	469	605	高知 20%
	19年	4,699	499	563	483	461	茨城 10%
	20年	4,612	466	418	417	557	(愛知産比率 0%)
	5ヵ年平均	4,921	408	368	415	474	
	21年見通し	4,600	470	450	470	490	前年及び本年の入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
西南暖地と関東産地からの入荷が中心となる。宮崎の生育は順調で病害の発生少なく樹勢も良好である。千葉の生育は日照不足の影響によりやや遅れが見られる。高知の生育は概ね順調である。入荷量は前年並で、価格も前年並みとなる見込み。							

名古屋市中央卸売市場

単位：入荷量 = トン、卸売価格 = 円 / kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量			卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)
		上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	
なす	16年	547	371	330	334	452	熊本 48%	
	17年	545	314	238	312	380	愛知 46%	
	18年	565	317	299	293	366	鹿児島 3%	
	19年	506	339	272	347	399	高知 3%	
	20年	485	317	281	294	388		
	5ヵ年平均	529	332	284	316	397		
	21年見通し	500	320	280	300	380	前年及び本年の入荷量・価格の動き	
産地状況と入荷量および卸売価格の概況見通し								
愛知、熊本を中心に一部鹿児島、高知からも入荷する。愛知は干荷なす、熊本は長なす。生育は概ね順調であるが、今後の天候次第。単価は高めだが、需要は伸び悩む時期である。入荷量は前年をやや上回り、価格は前年並みの見込み。								
トマト	16年	869	338	314	293	415	熊本 42%	
	17年	857	369	412	367	346	愛知 32%	
	18年	954	277	308	263	266	三重 17%	
	19年	972	274	201	283	332	岐阜 8%	
	20年	918	277	249	272	306		
	5ヵ年平均	914	305	297	296	333		
	21年見通し	950	280	250	280	300	前年及び本年の入荷量・価格の動き	
産地状況と入荷量および卸売価格の概況見通し								
熊本、愛知を中心に、三重、岐阜などから入荷する。1月は順調な入荷の見込みだが、下旬は入荷量にばらつきが出るおそれもある。入荷量は前年をやや上回り、価格は前年同様、例年を下回る見込み。								
ミニトマト	16年	220	662	575	658	766	熊本 58%	
	17年	224	646	716	616	620	愛知 34%	
	18年	274	517	517	456	580	和歌山 7%	
	19年	260	552	451	555	659	高知 1%	
	20年	286	471	445	459	505		
	5ヵ年平均	253	562	541	549	626		
	21年見通し	280	500	450	500	550	前年及び本年の入荷量・価格の動き	
産地状況と入荷量および卸売価格の概況見通し								
熊本、愛知を中心に、一部和歌山などから入荷する。生育は今後の天候次第だが、大きな変動はない見込み。ただし、1月下旬は入荷が少なめであろう。入荷量は前年並みで、価格は安かった前年をかなり上回る見込み。								

東京都中央卸売市場

「なす」の数値には「べいなす」を含まない。

単位：入荷量 = トン、卸売価格 = 円 / kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量			卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)
		上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	
なす	16年	2,290	434	402	393	501	高知 57%	
	17年	2,344	369	261	384	448	福岡 21%	
	18年	2,496	361	291	369	422	佐賀 7%	
	19年	2,140	384	306	393	456	熊本 6%	
	20年	2,153	372	322	332	467	(愛知産比率 - %)	
	5ヵ年平均	2,285	384	316	374	459		
	21年見通し	2,100	380	370	380	390	前年及び本年の入荷量・価格の動き	
産地状況と入荷量及び卸売価格の概況見通し								
西南暖地からの入荷が中心となる。高知の生育は概ね順調だが根張り不良による樹勢低下も散見される。福岡は12月上旬の低温の影響から数量少なくなっている。入荷量は前年をわずかに下回り、価格は前年をわずかに上回る見込み。								
トマト	16年	4,802	369	339	326	438	熊本 43%	
	17年	4,569	404	441	403	382	愛知 15%	
	18年	5,156	296	334	283	275	栃木 9%	
	19年	5,423	277	215	288	332	静岡 7%	
	20年	5,109	298	260	305	332	(愛知産比率 15%)	
	5ヵ年平均	5,012	326	318	321	352		
	21年見通し	5,000	350	300	350	350	前年及び本年の入荷量・価格の動き	
産地状況と入荷量及び卸売価格の概況見通し								
熊本、愛知からの入荷が中心となる。熊本の生育は概ね順調で肥大も良好。愛知の生育も概ね順調。宮崎は気温低下の影響から着色が遅れている産地もある。全体の入荷量は前年をわずかに下回り、価格は安かった前年を大幅に上回る見込み。								
ミニトマト	16年	791	670	503	718	798	熊本 31%	
	17年	891	669	720	636	661	愛知 25%	
	18年	1,023	519	519	472	569	宮崎 11%	
	19年	1,026	522	428	506	646	千葉 10%	
	20年	1,058	491	473	470	529	(愛知産比率 25%)	
	5ヵ年平均	958	566	529	560	641		
	21年見通し	1,000	500	480	500	520	前年及び本年の入荷量・価格の動き	
産地状況と入荷量及び卸売価格の概況見通し								
前月に続き熊本、愛知からの入荷が中心となる。熊本の生育は良好で順調な入荷が見込まれる。愛知の生育は概ね順調で大玉傾向も解消されつつある。入荷量は前年をやや下回り、価格は前年並となる見込み。								

名古屋市中央卸売市場

単位：入荷量 = トン、卸売価格 = 円 / kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量			卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)
		上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	
ピーマン	16年	594	388	328	323	613	宮崎 45%	
	17年	497	444	288	454	545	鹿児島 38%	
	18年	447	523	368	526	703	高知 17%	
	19年	407	646	487	711	784		
	20年	392	488	376	494	594	(愛知産比率 0%)	
	5ヵ年平均	467	487	369	502	648	前年及び本年の入荷量・価格の動き	
	21年見通し	400	500	450	500	550		
産地状況と入荷量および卸売価格の概況見通し		<p>宮崎、鹿児島、高知からも入荷する。重油高の影響で、宮崎、鹿児島で作付が減少し、少なめの傾向だが、1月は回復する。価格は下旬に上昇の見込み。入荷量は少なかった前年並みで、価格は前年をわずかに上回る見込み。</p>						
ばれいしよ	16年	2,924	135	116	131	147	北海道 65%	
	17年	3,041	106	104	107	106	長崎 21%	
	18年	3,147	117	114	121	115	鹿児島 13%	
	19年	3,239	107	112	106	107		
	20年	2,843	90	91	87	92	(愛知産比率 0%)	
	5ヵ年平均	3,039	111	107	110	113	前年及び本年の入荷量・価格の動き	
	21年見通し	2,800	100	100	100	100		
産地状況と入荷量および卸売価格の概況見通し		<p>北海道中心の入荷。10日ごろから鹿児島、中旬から長崎の入荷も始まる。北海道はメークイン、男爵の数量が少なめである。鹿児島は12月の寒波の影響で小玉傾向。入荷量は前年並みで、価格は安かった前年をかなり上回る見込み。</p>						
たまねぎ	16年	4,279	85	74	83	89	北海道 92%	
	17年	4,748	89	83	95	87	京都 2%	
	18年	4,417	88	85	98	81	アメリカ 2%	
	19年	4,811	85	87	92	79		
	20年	4,484	72	76	70	73	(愛知産比率 0%)	
	5ヵ年平均	4,548	84	81	88	82	前年及び本年の入荷量・価格の動き	
	21年見通し	4,500	72	70	72	74		
産地状況と入荷量および卸売価格の概況見通し		<p>北海道を主体に、一部静岡などから入荷する。北海道は貯蔵もののため、安定した入荷が見込まれる。静岡は早いものが出始める。入荷量は前年並みで、価格は安かった前年並みの見込み。</p>						

東京都中央卸売市場

単位：入荷量 = トン、卸売価格 = 円 / kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量			卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)
		上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	
ピーマン	16年	1,450	458	368	366	637	宮崎 47%	
	17年	1,430	485	326	498	573	茨城 21%	
	18年	1,333	567	415	558	712	高知 19%	
	19年	1,310	702	557	726	832	鹿児島 11%	
	20年	1,250	597	425	538	838	(愛知産比率 -%)	
	5ヵ年平均	1,355	558	418	537	718	前年及び本年の入荷量・価格の動き	
	21年見通し	1,200	650	600	650	700		
産地状況と入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>西南暖地からの入荷が中心となる。宮崎は9、10月の天候不順の影響から作柄悪く入荷少ない見込み。茨城の生育は順調で品質・肥大とも良好。高知も天候不順の影響から量的に少ない見込み。入荷量は前年をやや下回り、価格は高前年をかなり上回る見込み。</p>						
ばれいしよ	16年	7,021	135	127	134	141	北海道 75%	
	17年	7,356	110	108	110	111	長崎 15%	
	18年	6,995	121	118	122	121	鹿児島 10%	
	19年	7,176	118	120	119	117		
	20年	8,214	93	99	94	91	(愛知産比率 -%)	
	5ヵ年平均	7,292	115	114	116	116	前年及び本年の入荷量・価格の動き	
	21年見通し	7,500	100	100	100	100		
産地状況と入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>北海道からの入荷が中心となる。北海道は年内の出荷が順調だったため、年明けの数量が減少する見込み。長崎は日照不足の影響で小玉傾向となっている。入荷量は前年をかなり下回り、価格も前年をかなり上回る見込み。</p>						
たまねぎ	16年	8,422	90	79	88	97	北海道 95%	
	17年	8,661	104	90	105	109	静岡 2%	
	18年	8,195	103	102	102	103	中国 2%	
	19年	8,524	96	90	96	99		
	20年	8,203	81	79	80	82	(愛知産比率 0%)	
	5ヵ年平均	8,401	95	88	94	98	前年及び本年の入荷量・価格の動き	
	21年見通し	8,200	75	75	75	75		
産地状況と入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>春先まで北海道中心の入荷が続く。計画的な出荷となっており、順調な入荷が続く見込みである。品質は良好で中心サイズはL大となる。入荷量は前年並みで、価格は前年をかなり下回る見込み。</p>						

名古屋市中央卸売市場

単位：入荷量 = トン、卸売価格 = 円 / kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量			卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)
		上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	
果	16年	14,004	282	332	256	271	静岡 22%	
	17年	13,538	303	356	308	277	フィリピン 17%	
	18年	11,181	295	365	271	276	愛知 16%	
	19年	10,541	366	398	354	358	青森 14%	
	20年	10,776	277	320	262	263		
5ヵ年平均	12,008	303	-	-	-			
21年見通し	10,000	300	-	-	-			
計	産地状況と入荷量および卸売価格の概況見通し							前年及び本年の入荷量・価格の動き
	<p>みかん、りんご、いちごを主力に入荷する。入荷は少ないが、景気の急激な落ち込みに伴って全般的に消費が鈍く、年始の贈答需要が終わると苦しい相場が予想される。入荷量は前年をかなり下回り、価格は安かった前年をかなり上回る見込み。</p>							
みかん	16年	3,284	179	181	162	191	静岡 62%	
	17年	3,382	223	224	227	217	愛知 28%	
	18年	2,990	171	181	170	162	和歌山 6%	
	19年	2,842	304	299	311	298	三重 2%	
	20年	3,563	123	141	109	123		
5ヵ年平均	3,212	196	-	-	-			
21年見通し	2,700	260	270	260	250			
計	産地状況と入荷量および卸売価格の概況見通し							前年及び本年の入荷量・価格の動き
	<p>静岡を中心に、愛知、和歌山などから入荷。静岡の青島などの普通温州が主体となる。裏年で前年よりは少ない。2L中心で、食味はまずまず。入荷量は前年を大幅に下回り、価格は安かった前年を大幅に上回る見込み。</p>							
いちご	16年	1,256	1,079	984	951	1,342	愛知 57%	
	17年	1,203	1,159	1,241	1,162	1,103	熊本 16%	
	18年	943	1,286	1,469	1,140	1,230	三重 10%	
	19年	976	1,243	1,304	1,176	1,244	鹿児島 7%	
	20年	888	1,179	1,274	1,086	1,164		
5ヵ年平均	1,053	1,182	-	-	-			
21年見通し	950	1,150	1,250	1,100	1,100			
計	産地状況と入荷量および卸売価格の概況見通し							前年及び本年の入荷量・価格の動き
	<p>愛知を中心に熊本、鹿児島、三重などから入荷する。1月の中下旬から2番果が出てくる。12月に高温が続いたことから着色が早い傾向だが、食味はまずまず。大玉系の品種が多い。入荷量は前年をかなり上回り、価格は前年をわずかに下回る見込み。</p>							

東京都中央卸売市場

単位：入荷量 = トン、卸売価格 = 円 / kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量			卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)
		上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	
果	16年	47,084	307	243	282	302	静岡 17%	
	17年	44,247	339	368	331	331	愛媛 17%	
	18年	43,212	315	390	290	296	青森 12%	
	19年	37,958	405	476	374	400	フィリピン 8%	
	20年	40,636	316	409	300	281	(愛知産比率 1%)	
5ヵ年平均	42,627	336	-	-	-			
21年見通し	37,000	315	-	-	-			
計	産地状況と入荷量及び卸売価格の概況見通し							前年及び本年の入荷量・価格の動き
	<p>みかん中心にりんご、いちごなどが入荷する。中旬以降は「不知火」などの中晩相がこれに加わる。りんごは「ふじ」などの貯蔵物が順調に入荷すると見込まれる。全体の入荷量は前月に引続き、前年をかなり上回り、価格は引続き安かった前年並と見込まれる。</p>							
みかん	16年	18,265	177	185	168	179	静岡 37%	
	17年	16,753	225	216	226	230	愛媛 17%	
	18年	17,747	176	185	175	171	長崎 12%	
	19年	13,883	305	295	312	301	和歌山 12%	
	20年	17,418	150	168	144	146	(愛知産比率 0%)	
5ヵ年平均	16,813	207	-	-	-			
21年見通し	15,000	250	250	250	250			
計	産地状況と入荷量及び卸売価格の概況見通し							前年及び本年の入荷量・価格の動き
	<p>静岡中心に愛媛、長崎、和歌山などから「普通」中心に入荷する。今年は、減酸が早く、前進出荷となっており、「早生」の残量は少ない。しかし、裏年にあたり大幅な入荷量の減少が見込まれている。価格は安かった前年を大幅に上回ると見込まれる。</p>							
いちご	16年	4,349	1,173	1,041	1,061	1,454	栃木 41%	
	17年	4,356	1,195	1,249	1,199	1,158	静岡 18%	
	18年	4,180	1,246	1,421	1,154	1,175	佐賀 12%	
	19年	4,184	1,274	1,271	1,201	1,263	長崎 8%	
	20年	4,126	1,189	1,284	1,093	1,175	(愛知産比率 4%)	
5ヵ年平均	4,239	1,215	-	-	-			
21年見通し	4,250	1,150	1,200	1,150	1,100			
計	産地状況と入荷量及び卸売価格の概況見通し							前年及び本年の入荷量・価格の動き
	<p>栃木、静岡、佐賀中心に入荷する。生育は各産地とも順調で、2番果中心の入荷となる見込み。荷量の増減はあるが、全体的には安定的な入荷が見込まれる。入荷量は前年をやや上回り、価格は前年をやや下回ると見込まれる。</p>							

切花・鉢花の1月の見通し

切花（地方卸売市場 ヤマエ生花市場 12月24日現在）

単位：千本、円/本

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
輪 ぎ く	実 績	16年	857	48	
		17年	762	58	
		18年	750	49	
		19年	797	53	
20年		788	48		
5ヶ年平均		791	51		
21年見通し		750	51		
概要		愛知、沖縄を中心に大分などから入荷。作付時は重油が高騰していたことから面積が減少しており、入荷は少なめとなるであろう。業務需要が中心のため、単価は今後の天候の影響などで上下するが、全般的には、入荷減により堅調に推移するであろう。			
小 ぎ く	実 績	16年	494	32	
		17年	443	26	
		18年	459	25	
		19年	409	34	
20年		378	27		
5ヶ年平均		436	29		
21年見通し		370	30		
概要		沖縄を中心に、愛知などから入荷。沖縄はやや前進傾向のため、1月後半は入荷が減少する。愛知も、冷え込みの影響で少なめとなる。1月前半は正月明けで需要が少ないが、後半は引き合いが強くなる見込みであり、堅調な展開が予想される。			
カ ー ネ ー シ ョ ン	実 績	16年	521	30	
		17年	453	40	
		18年	471	42	
		19年	459	38	
20年		414	33		
5ヶ年平均		464	36		
21年見通し		420	35		
概要		愛知を中心に和歌山、長野から入荷。全体的にやや遅れ気味に推移しているが、入荷量は前年並み。スプレーからスタンダードへ作付の移行が見られ、スプレーの入荷はやや減少傾向。需要が少ない時期であるため、高値は期待できない。			
か す み そ う	実 績	16年	87	62	
		17年	81	69	
		18年	85	68	
		19年	68	68	
20年		73	56		
5ヶ年平均		79	65		
21年見通し		75	65		
概要		和歌山、熊本を中心に入荷。各産地とも生育は順調で、前年を上回る安定した入荷となる見込み。単価は、成人の日までは荷動きが活発で堅調だが、後半はやや苦しい展開となるであろう。			

単位：千本、円/本

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き	
	実績等					
ゆり	実績	16年	140	186		
		17年	126	211		
		18年	140	196		
		19年	128	202		
20年		123	194			
5ヶ年平均		131	198			
21年見通し		120	200			
概要	<p>愛知、高知を中心に入荷。オリエンタル系の作付面積は前年並み。加温不足により一部遅れが見られるが、入荷は前年並み。てっぽうゆり、すかしゆりは作付が減少しており、前年を下回る入荷。価格は、前半は需要が少なく苦しいが、後半は入荷減により堅調。</p>					
洋らん	実績	16年	254	64		
		17年	291	58		
		18年	251	65		
		19年	246	78		
20年		240	72			
5ヶ年平均		256	67			
21年見通し		240	70			
概要	<p>高知、徳島、宮崎、愛知などと輸入ものが入荷。国内産は気温の低下とともに入荷量は減少する。輸入ものは前年並みの入荷の見込み。前半は成人式需要により引き合いが強いが、後半はやや軟調気味の展開となるであろう。</p>					
ばら	実績	16年	278	65		
		17年	305	68		
		18年	250	69		
		19年	279	75		
20年		253	80			
5ヶ年平均		273	71			
21年見通し		270	71			
概要	<p>愛知、岐阜、和歌山、大分などと、輸入ものが入荷。国内産は、重油価格が落ち着いてきたことから前年よりは入荷が多い。輸入ものは前年並みの入荷の見込み。価格は、成人式までは堅調だが、その後は、需要が少なく苦しい展開であろう。</p>					
枝も	実績	16年	775	39		
		17年	884	39		
		18年	868	38		
		19年	906	39		
20年		794	38			
5ヶ年平均		845	39			
21年見通し		790	38			
概要	<p>長野、愛知、山形を中心に入荷。サクラ、ボケ、ユキヤナギ等の促成ものが主体となる。前半は稽古の休みが多く花材の動きは悪いが、後半は稽古も再開するため、堅調に推移するであろう。</p>					

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
工 力	実 績	平成16年	58,536	314	
		平成17年	52,148	268	
		平成18年	43,353	223	
		平成19年	35,585	222	
		平成20年	38,335	230	
5ヶ年平均		45,591	258		
21年見通し		43,000	230		
概要	<p>近年、小鉢化傾向にある。入荷量は前年を下回ると予想されるが、品種数は前年並みと思われる。昨年1月の主要県の入荷実績は、金額ベースのシェアで1位山梨(25%)、2位静岡(23%)、3位長野(21%)となっている。</p>				
プ ム ラ	実 績	平成16年	636,741	107	
		平成17年	575,990	115	
		平成18年	617,353	100	
		平成19年	600,516	104	
		平成20年	647,705	100	
5ヶ年平均		615,661	105		
21年見通し		605,000	90		
概要	<p>12月の入荷の遅れから、この月は入荷増の見込み。12月の早出しものが単価低迷のうえ、入荷増に伴う商品のだぶつきにより、1月も引き続き厳しくなりそう。昨年1月の主要県の入荷実績は、金額ベースのシェアで1位愛知(39%)、2位埼玉(14%)、3位三重(11%)となっている。</p>				
チ ュ ー リ ッ プ	実 績	平成16年	116,367	227	
		平成17年	123,097	199	
		平成18年	115,834	198	
		平成19年	100,643	203	
		平成20年	103,661	200	
5ヶ年平均		111,920	206		
21年見通し		100,000	200		
概要	<p>昨年同様、球根の輸入単価が高騰している一方で販売価格は低下しており、生産量は減少か。この月の入荷量は4号鉢が主体となるが、5号鉢の生産が多いので昨年並みか。昨年1月の主要県の入荷実績は、金額ベースのシェアで1位愛知(43%)、2位埼玉(39%)、3位奈良(5%)となっている。</p>				

単位：鉢、円／鉢

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
サイネリア	実績	平成16年	68,019	242	
		平成17年	56,911	279	
		平成18年	65,815	277	
		平成19年	72,176	302	
平成20年		62,998	261		
5ヶ年平均	65,184	272			
21年見通し	62,000	260			
概要	<p>入荷量は昨年並みか。上旬の需要に合わせて、地元の小鉢や東日本の5,6号鉢が中心の動きとなりそう。下旬に向かうに従い入荷減か。昨年1月の主要県の入荷実績は、金額ベースのシェアで1位愛知(41%)、2位埼玉(24%)、3位栃木(10%)となっている。</p>				
マーガレット	実績	平成16年	69,182	203	
		平成17年	91,904	202	
		平成18年	67,747	197	
		平成19年	46,757	211	
平成20年		41,406	196		
5ヶ年平均	63,399	202			
21年見通し	41,000	190			
概要	<p>生産量は昨年並みで小鉢化傾向となりそう。入荷量は昨年同様、4号鉢を中心にポット仕立てとなりそう。市況は軟調か。昨年1月の主要県の入荷実績は、金額ベースのシェアで1位愛知(48%)、2位静岡(14%)、3位岐阜(12%)となっている。</p>				
デンドロビウム	実績	平成16年	44,523	842	
		平成17年	35,146	836	
		平成18年	27,778	902	
		平成19年	25,204	956	
平成20年		24,728	1,654		
5ヶ年平均	31,476	997			
21年見通し	24,000	1,000			
概要	<p>入荷量は昨年並みか。ただ、この社会情勢から単価面では苦戦しそうである。昨年1月の主要県の入荷実績は、金額ベースのシェアで1位愛知(57%)、2位岐阜(13%)、3位静岡(10%)となっている。</p>				

主要農林水産物の輸出入実績 (2008年)

1 輸入実績

品名	10月						10月までの累計					
	数量	前年比	金額	前年比	単価	前年比	数量	前年比	金額	前年比	単価	前年比
	トン	%	千円	%	円/kg	%	トン	%	千円	%	円/kg	%
野菜(生鮮・冷蔵)	39,196	83.9	6,606,011	80.6	169	96.0	444,085	83	51,269,820	80	115	96.0
トマト	287	79.1	75,963	64.5	265	81.6	1,626	46	488,101	42	300	91.7
たまねぎ	15,781	78.5	571,511	90.2	36	114.8	155,877	81	5,319,832	67	34	82.9
にんにく	1,724	91.0	178,441	79.0	103	86.8	16,875	90	1,706,149	70	101	77.8
ねぎ	3,073	65.9	296,340	51.3	96	77.8	28,056	69	2,951,865	79	105	114.2
ブロッコリー	2,924	87.9	577,348	78.7	197	89.6	29,396	80	5,122,594	78	174	97.4
結球キャベツ	102	-	3,335	-	33	-	3,621	-	143,919	-	40	-
にんじん・かぶ	3,143	73.1	142,799	61.2	45	83.7	38,364	95	2,635,103	136	69	143.6
ごぼう	4,677	92.2	213,836	117.2	46	127.2	37,365	90	1,972,438	100	53	110.9
えんどう	33	22.3	6,921	15.5	213	69.8	825	25	170,501	21	207	83.9
アスパラガス	1,475	84.9	872,588	89.8	592	105.8	8,026	82	4,758,834	81	593	99.2
まつたけ	342	91.2	2,223,059	77.0	6,496	84.5	1,164	83	6,071,927	81	5,218	98.3
しいたけ	326	63.5	93,218	64.2	286	101.1	3,367	44	845,152	40	251	92.4
かぼちゃ	2,144	225.8	135,766	230.1	63	101.9	81,582	97	6,155,992	99	75	102.2
果実(生鮮・乾燥)	156,408	117.1	21,324,893	113.4	136	96.9	1,560,102	102	198,236,807	96	127	96.9
バナナ	113,545	131.2	9,178,258	158.3	81	120.6	898,038	108	68,718,084	114	77	108.3
パイナップル	10,274	75.8	645,768	82.6	63	109.0	124,475	87	7,732,133	80	62	105.5
レモン	2,895	65.8	410,068	43.4	142	65.9	50,104	95	9,763,092	86	195	95.6
オレンジ	4,683	124.6	447,100	88.7	95	71.2	91,843	118	9,281,753	81	101	72.6
グレープフルーツ	690	62.9	74,841	57.0	108	90.7	162,871	87	14,590,413	72	90	92.8
メロン	1,659	93.4	159,362	88.3	96	94.6	27,388	126	3,064,264	111	112	88.3
ぶどう	200	61.7	55,750	57.5	279	93.2	5,357	84	1,147,607	82	214	97.3
キウイ	4,926	147.2	2,307,212	158.8	468	107.9	55,295	100	17,475,937	107	316	106.7
いちご	772	90.0	777,922	89.5	1,008	99.5	2,875	85	2,920,959	86	1,016	100.8
切花(生鮮・乾燥)	3,348	107.9	2,625,486	92.9	784	86.1	29,016	103	23,718,035	98	817	95.8
鳥獣肉類	169,991	120.8	83,614,979	125.0	492	103.4	1,497,299	108	714,843,154	109	477	100.5
牛肉(くず肉含む)	37,150	102.7	19,548,964	103.3	526	100.6	383,139	98	189,370,845	94	494	96.5
豚肉(くず肉含む)	76,101	119.8	40,208,032	119.7	528	99.9	686,314	108	361,886,806	108	527	99.2
鶏肉	48,984	145.5	18,063,472	209.5	369	143.9	358,322	125	110,133,361	172	307	138.0
水産物(生鮮・冷蔵・冷凍)	151,233	91.6	95,064,383	97.9	629	106.9	1,566,935	101	924,806,683	102	590	100.8
まぐろ類	16,507	81.1	14,184,220	91.6	859	113.0	179,061	92	182,529,499	104	1,019	114.1
さば・さんま・あじ・いわし	5,150	107.8	899,887	114.8	175	106.5	88,078	124	14,813,770	119	168	95.5

2 輸出実績

果実(生鮮・乾燥)	4,964	153.8	1,253,994	149.1	253	97.0	21,631	104	7,261,249	103	336	98.6
うんしゅうみかん	1,769	115.5	175,608	114.3	99	99.0	1,969	121	292,278	122	148	101.1
りんご	1,645	183.0	561,572	164.0	341	89.6	15,170	104	4,540,609	103	299	99.1
なし	208	121.1	90,042	112.1	433	92.6	1,353	70	598,110	70	442	100.3
野菜(生鮮・冷蔵・乾燥)	-	-	392,260	79.5	-	-	-	-	3,090,578	104	-	-
緑茶	139	87.8	294,584	96.4	2,124	109.7	1,383	104	2,761,926	104	1,997	99.9

資料 農林水産省大臣官房統計部「農林水産物輸出入情報」

関 連 指 数

項目 年月		消費者物価指数				
		総合	生鮮野菜	生鮮果物	肉類	魚介類
全 国	18年平均	100.3	105.8	104.0	100.8	102.2
	19年平均	100.3	103.1	109.3	102.7	103.1
	20年 8月	102.7	97.8	110.5	107.9	108.7
	9月	102.7	106.8	104.1	107.6	106.2
	10月	102.6	109.5	104.6	107.6	105.7
愛 知 県	18年平均	100.2	103.9	102.5	99.8	103.9
	19年平均	100.5	100.3	111.1	100.7	103.5
	20年 8月	102.8	97.3	112.7	107.9	105.5
	9月	102.9	106.2	107.9	107.1	106.0
	10月	102.8	105.9	100.9	105.7	106.5

項目 年月		農業物価指数 (平成17年 = 100)				
		農産物総合	米	野菜	果実	畜産物
全 国	18年平均	102.9	97.8	108.2	120.6	99.0
	19年平均	97.6	95.0	100.6	110.1	99.5
	20年 7月	94.8	93.3	97.8	126.3	103.7
	8月	91.9	93.4	82.7	109.5	104.3
	9月	96.3	96.5	99.4	83.0	103.3
10月	98.2	96.3	109.7	90.1	100.8	

資料 農林水産省大臣官房統計部「農業物価指数」

資料 全 国・総務省統計局「消費者物価指数月報」
愛知県・愛知県県民生活部「名古屋市消費者物価指数」

名 古 屋 市 小 売 価 格 (円)													
品目 単位 年月	うるち米 (単一産、 「コヒカリ」 以外)	キャベツ	はくさい	ねぎ	レタス	ばれいしょ	だいこん	にんじん	たまねぎ	きゅうり	トマト	生しいたけ	りんご(ふじ)
	5 kg	1 kg										100g	1kg
17年平均	2,293	170	165	586	397	304	151	340	217	522	636	178	521
18年平均	2,256	174	184	606	426	278	161	359	217	538	630	193	502
19年平均	2,229	147	153	589	440	269	137	295	203	530	629	206	535
20年 8月	2,173	130	173	657	329	278	145	359	186	455	483	213	-
9月	2,182	122	177	764	519	271	170	299	199	518	591	213	-
10月	2,198	138	199	665	512	259	179	264	178	565	689	209	-
品目 単位 年月	みかん	グレフ イル プ イツ	オレ ンジ	いちご	バナ ナ	キ ウ イル イツ	緑(せ 茶ん 茶)	カ ー ネ シ ョ ン	き く	パ ラ	豚(口 肉 ス)	牛(口 肉 ス)	ま ぐ ろ
	1 kg	100g	1 kg	100g	1 kg	100g	1 本	100g					
17年平均	548	291	362	156	240	723	618	155	171	306	234	792	480
18年平均	546	354	404	153	245	686	609	159	168	312	233	793	497
19年平均	689	356	509	165	258	705	602	163	170	315	221	776	506
20年 8月	-	302	379	-	256	700	619	166	199	311	236	851	503
9月	1,071	340	437	-	257	691	631	168	169	319	237	841	510
10月	507	332	415	-	301	698	620	164	170	331	231	822	499

資料 総務省統計局「小売物価統計調査報告」



あいち農産物生産流通レポート 427
平成21年1月発行
農林水産部食育推進課
〒460-8501
名古屋市中区三の丸三丁目1番2号
電話 (052) 954-6417